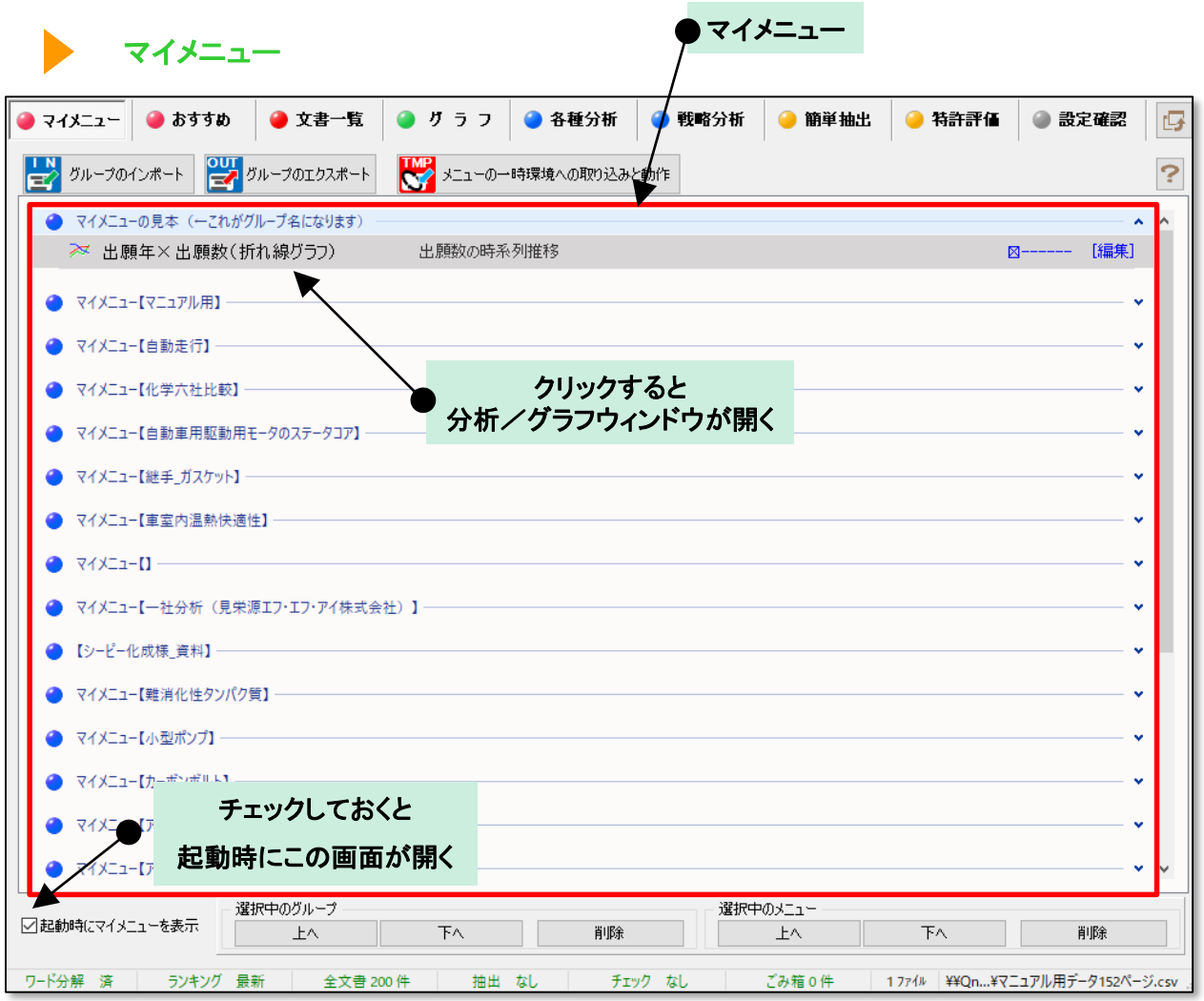
【 マイメニュー 】

☑ マイメニューの使い方

マイメニューの使い方（1）

マイメニュー



ここでの注意ポイント！

■ マイメニューへの登録

分析やグラフを、分析時／グラフ作成時の条件なども含めて「マイメニュー」に登録することができます。
「起動時にマイメニューを表示」にチェックを入れておくと、ぱっとマイニングJPの起動時に「マイメニュー」を開くようになります。

■ マイメニューの活用

登録した「マイメニュー」の項目をクリックすると、下記のようなことができます。

・同じ条件での分析の再現

・別のデータで、同様の条件でのグラフ作成

・プレゼンへの活用

・業務担当ごとに、よく使う機能のメニューのグループ化

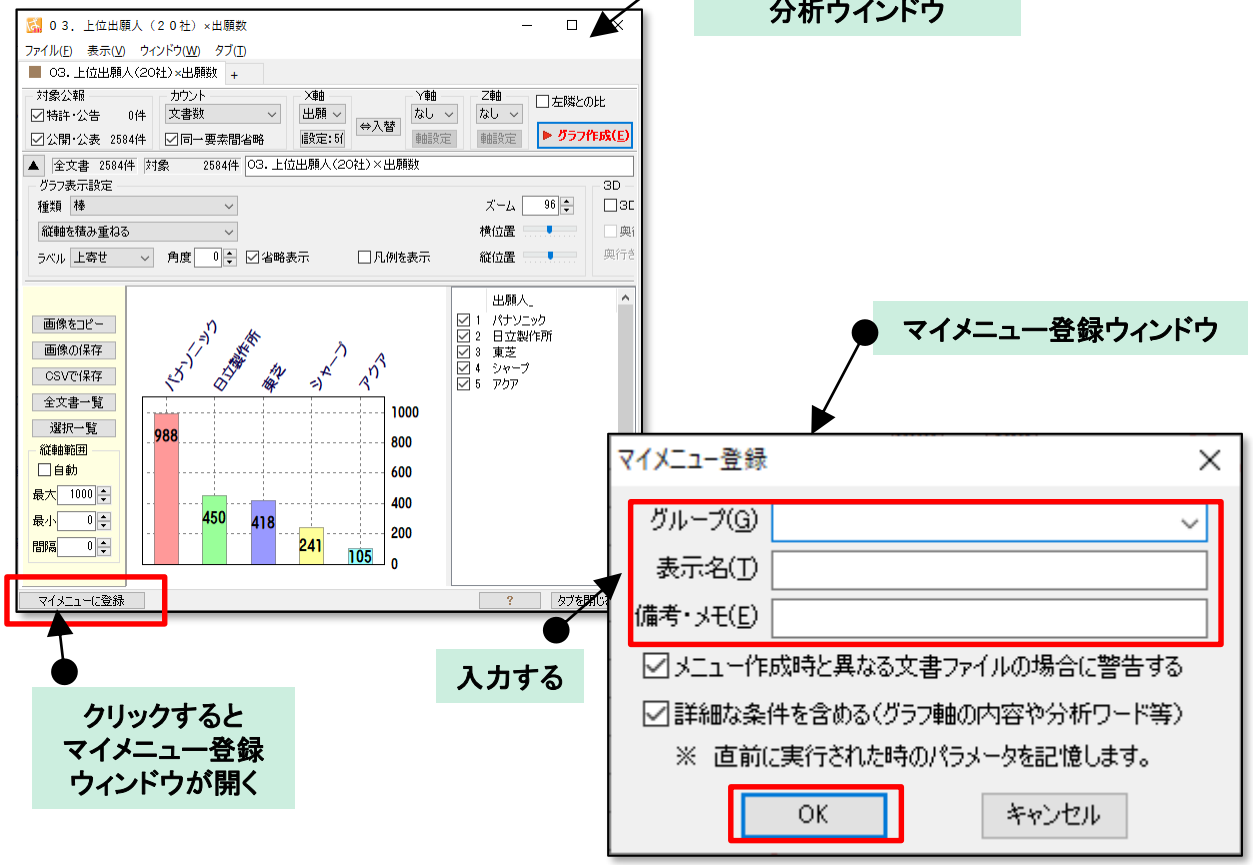
・・・など、多彩に応用できます。

■ マイメニューの整理

各機能はグループ化し、順番を入れ替えることができます。
例えば、「～分野の分析フロー」や「～調査の手順」など、分野／目的ごとにグループ化し、順番を整理しておくことで、同じ作業を同じ手順で繰り返すことができるようになります。

マイメニューの使い方（2）

マイメニューへの登録



ここでの注意ポイント！

■ マイメニューへの登録

マイメニューに登録する手順は、以下のとおりです。
グラフウィンドウや分析ウィンドウの左下にある「マイメニューに登録」をクリックします。
マイメニュー登録ウィンドウで、グループ名、表示名、備考・メモを入力します。
「OK」をクリックすると、マイメニューに登録されます。

■ メニュー作成時と異なる文書ファイルの場合に警告する

このチェックを付けて保存しておくと、そのときに使用している分析用データ以外をこのメニューで開こうとしたときに警告ポップアップが開きます。

■ 詳細な条件を含める

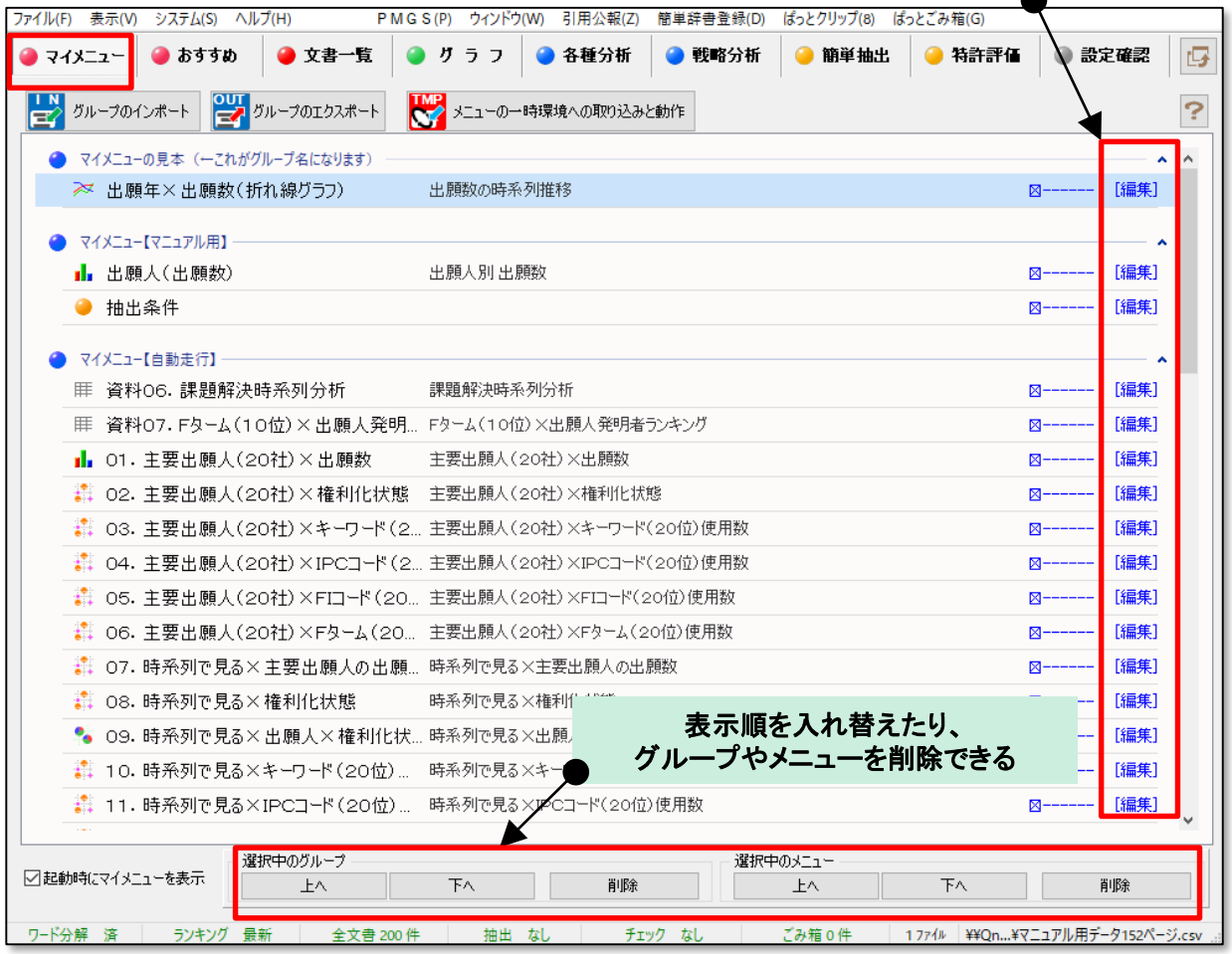
詳細な条件を含める（グラフ軸の内容や分析ワード等）」にチェックを入れておくと、直前に実行されたグラフ作成や分析のパラメータ（ワード種別やワードなどの選択状態）を含めて登録することができます。

備考・メモの入力欄に、分析の目的やグラフの種別、作業上の注意点などを入力しておくと便利！

マイメニューの使い方（3）

マイメニューの編集

クリックすると
マイメニュー登録ウィンドウが開く



ここでの注意ポイント！

■ マイメニューの編集

「マイメニュー」のグループ名やメニューを編集したり、表示順を入れ替えたり、所属するグループを変更したりすることができます。
「編集」をクリックすると「マイメニュー登録ウィンドウ」が開き、メニューのグループ名、表示名、備考・メモを編集することができます。

■ 下部のボタンの活用

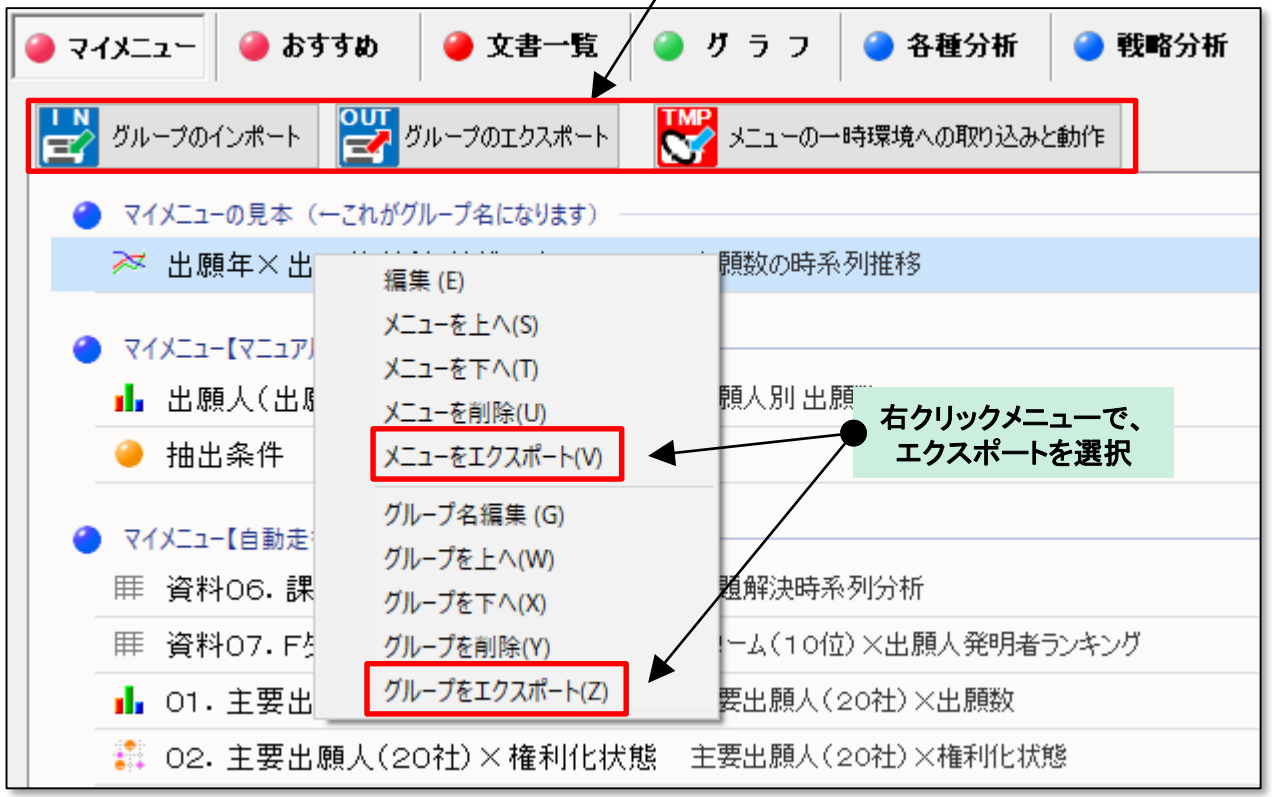
「マイメニュー」の下部の各ボタンをクリックすると、グループやメニューの表示順を入れ替えたり、削除することができます。

上記の各作業は、右クリックメニューからも行なうことができます。

マイメニューの使い方（4）

マイメニューのエクスポート・インポート

環境設定も含めたエクスポートについては、
次ページの説明を参照



ここでの注意ポイント！

■ マイメニューのエクスポート

マイメニューやマイメニューのグループをエクスポートし、外部出力することができます。

■ グループのエクスポートの手順

1. マイメニュー上で、マウスを右クリックし、「メニューをエクスポート」または「グループをエクスポート」をクリックします。
2. 書き出し時の保存形式を（1）zipファイルか（2）フォルダか選択します。zipファイルを選択すると容量の軽量化が可能です。
3. 任意の保存先を選択し、ファイルを保存します。
4. メニューは .prm 形式で保存されます。 グループはフォルダとして保存されます。

■ マイメニューのインポート

保存されたファイルを、マイメニュー画面上にドラッグ＆ドロップすると、マイメニュー画面にインポートすることができます。グループのインポートボタンからもメニューの取り込みを行なうことができます。

マイメニューの使い方（5）

環境設定を含むマイメニューのエクスポート

ここでの注意ポイント！

■ 「グループでエクスポート」を選択する

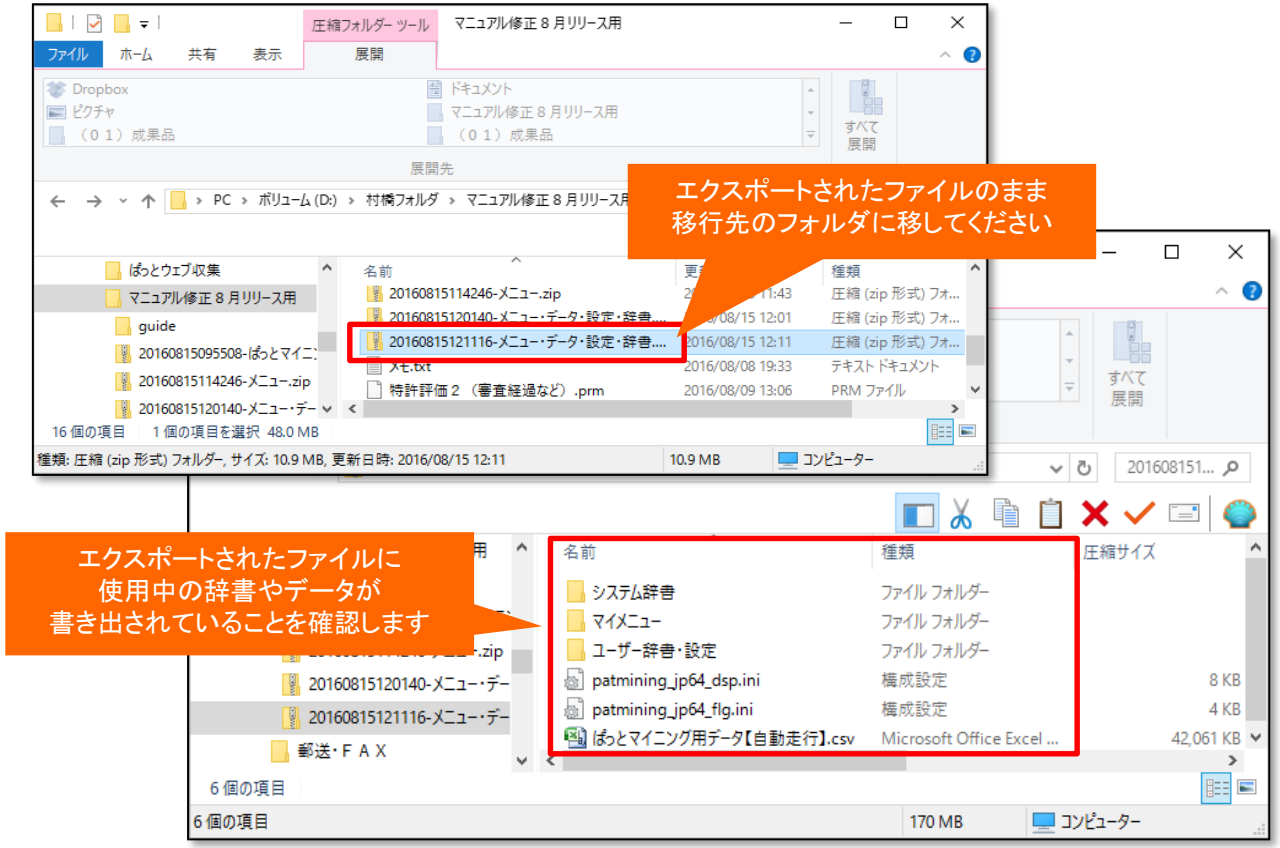
マイメニューに登録されているグループのエクスポートを行なうことができます。

■ 「フォルダの参照」からエクスポート先を選択

目的に合わせたエクスポート方法を選択してください。データ送受信の時間を短縮可能なzipファイルでの保存も可能です。また、データの軽量化を目的に、システム辞書を除外してエクスポートすることも可能です。
「メニューのみをエクスポート」を選択することで、マイメニューのみをエクスポートを選択することができます。
「メニューと共にデータ・設定・辞書をエクスポート」を選択することで、マイメニューと環境設定を合わせてエクスポートすることができます。ぱっとマイニング・ビューアにてマイメニューの再現を行なう場合や、[メニューの一時環境への取り込みと動作]を行なう場合にはこちらをご利用下さい。
エクスポート方法の選択後、エクスポート画面からグループのエクスポート先を選択し、「OK」をクリックします。

マイメニューの使い方（6）

環境移行に必要なファイルを確認（一時的な移行）



※　システム辞書を除外した場合、システム辞書はファイル内に含まれません。
取込みを行なう環境にあるシステム辞書が利用されます。

ここでの注意ポイント！

■　環境移行に必要なファイル

「ぱっとマイニング・ビューア」に取り込むファイルはエクスポートされたファイルのまま「ぱっとマイニング・ビューア」をインストールしたパソコンに移してください。取り込み方法は次のページで説明します。

■　ファイル内の確認

「ぱっとマイニングJP」からエクスポートされたファイルに、使用中の辞書やデータが書き出されていることを確認してください。

■　エクスポートされる内容

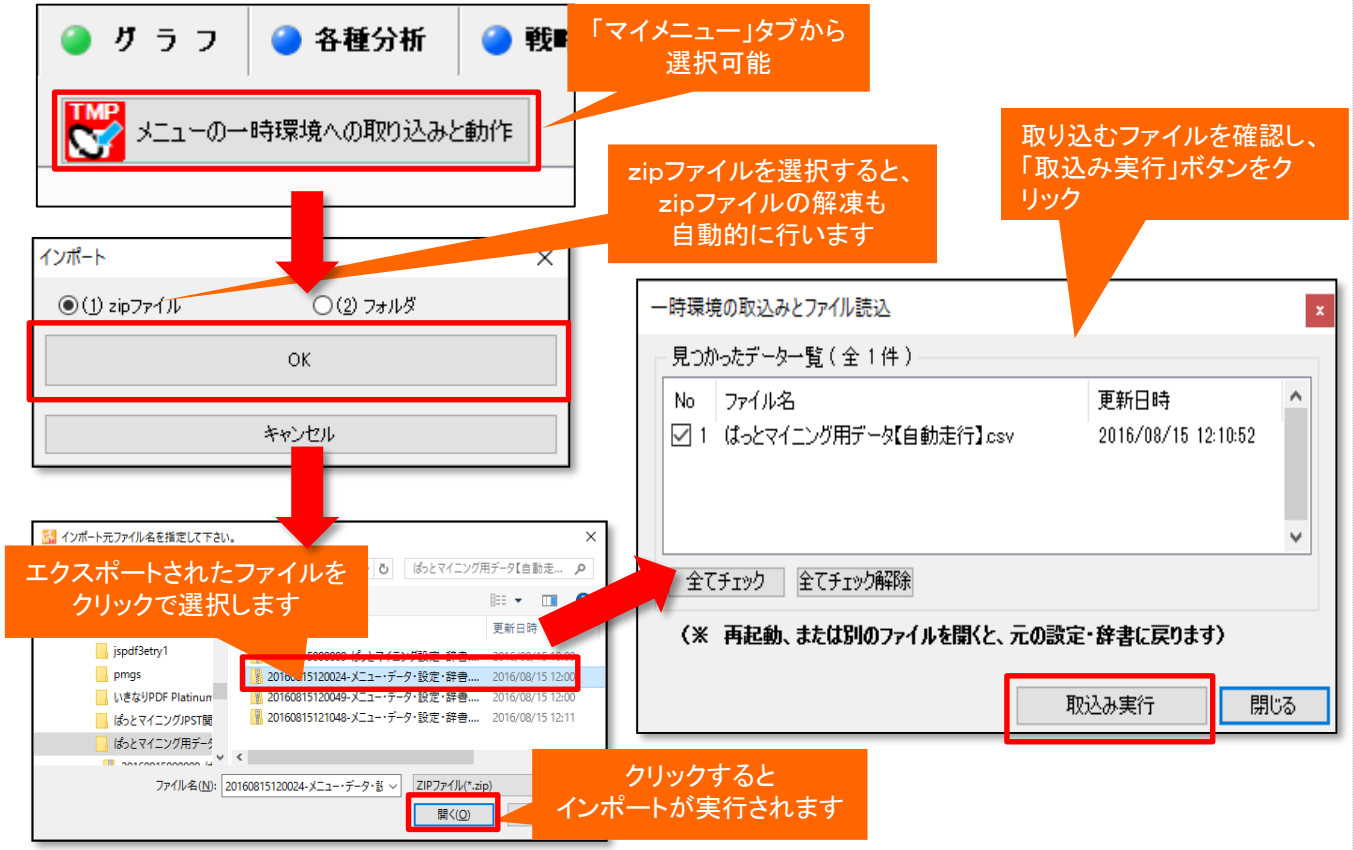
「ぱっとマイニングJP」からエクスポートされたファイルには辞書、環境設定、マイメニュー時の内容が記録されております。

※　ぱっとマイニングJPで保存し、同じ環境でもマイメニューで再現ができない箇所は環境を移行後も、再現されないためご注意ください。
（例）関連図のノード固定、縦軸・横軸の範囲設定、右袖のチェックボックスで変更可能な軸設定の一時的な並び順やチェック状態等の表示設定、グラフ上の右クリックメニューから表示変更した名称

※　グラフブラウザ以外の分析は条件設定が反映された状態で保存されておりますので、「分析実行」をクリックする動作などが必要となります。

マイメニューの使い方（7）

環境設定も含めたマイメニューの取り込み方法



※ 「マイメニュー」で一時設定として取り込まれたデータはすべて、「ぱっとマイニング」を終了すると消えてしまいます。ご注意ください。

ここでの注意ポイント！

■ メニューの一時環境への取り込みと動作

マイメニュータブの下にある「メニューの一時環境への取り込みと動作」をクリックすると、一時環境への取り込みを開始することができます。また、「ぱっとマイニング・ビューア」にてマイメニューを再現する場合もこちらのボタンから取り込みが可能です。

■ インポートするファイル形式の選択

（1）zipファイルか（2）フォルダかを選択します。zipファイルは圧縮保存されていますが、選択するだけでそのまま読み込むことができます。

■ フォルダーの参照

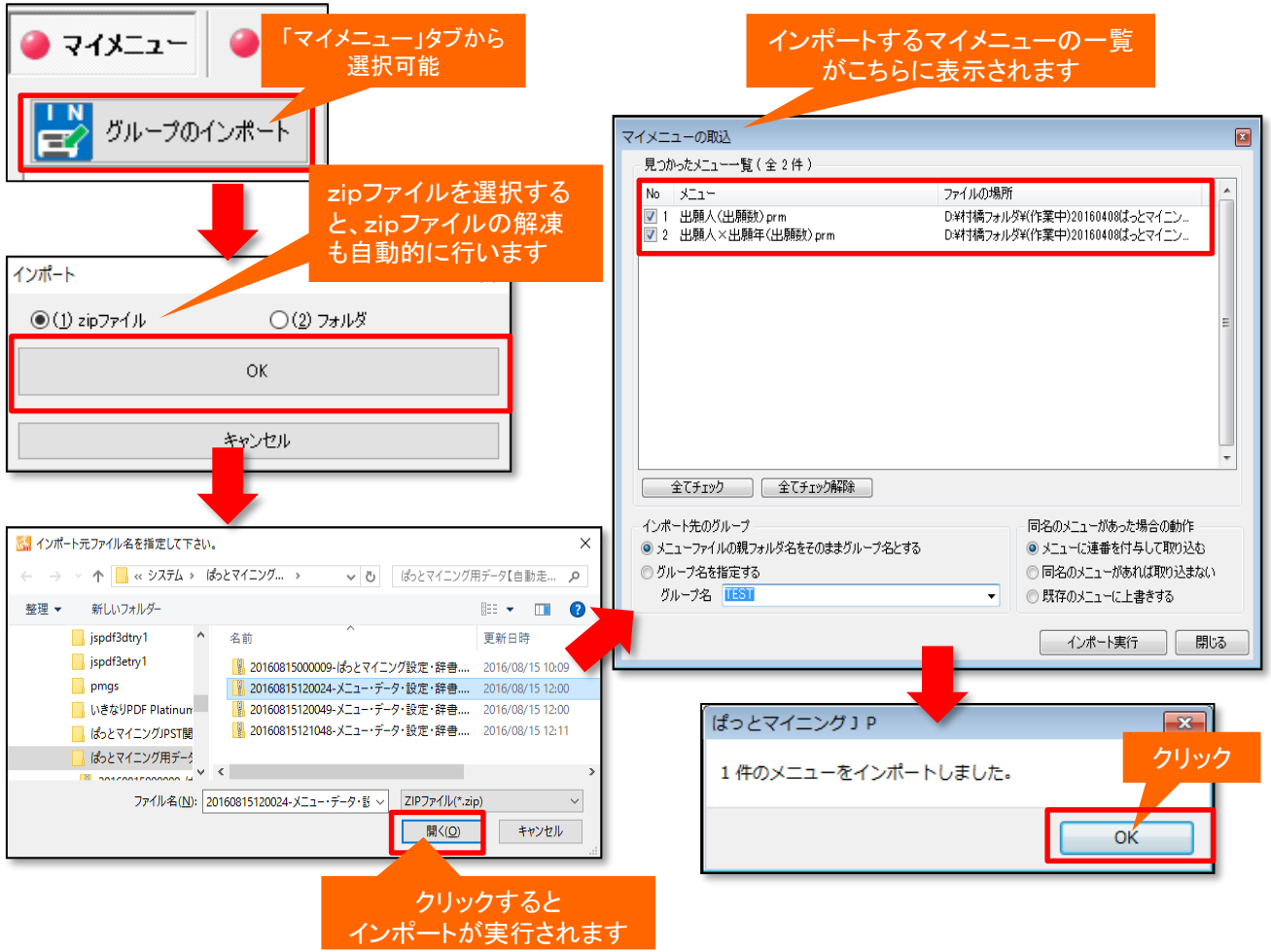
一時環境への取り込みをするフォルダーをクリックで選択し、「OK」を押します。この際、フォルダー内のデータやマイメニュー各種を選択しているとうまくインポートができません。ご注意ください。

■ 見つかったデータ一覧

見つかったデータ一覧では、選択したフォルダ内のメニューが一覧で表示されます。チェックしたデータが取り込み対象となります。

マイメニューの使い方（8）

グループのインポート（環境設定を含めないマイメニューの取り込み方法）



ここでの注意ポイント！

- 「グループのインポート」を選択する

  エクスポートし、保存されたマイメニューをインポートすることで、ぱっとマイニングのマイメニュー一覧に登録することができます。

- インポートするファイル形式の選択

  （1）zipファイルか（2）フォルダかを選択します。zipファイルは圧縮保存されていますが、選択するだけでそのまま読み込むことができます。

- 同名のメニューがあった場合の動作

  グループ名とメニュー名が同名のメニューがあった場合のマイメニューに対する動作を選択できます。

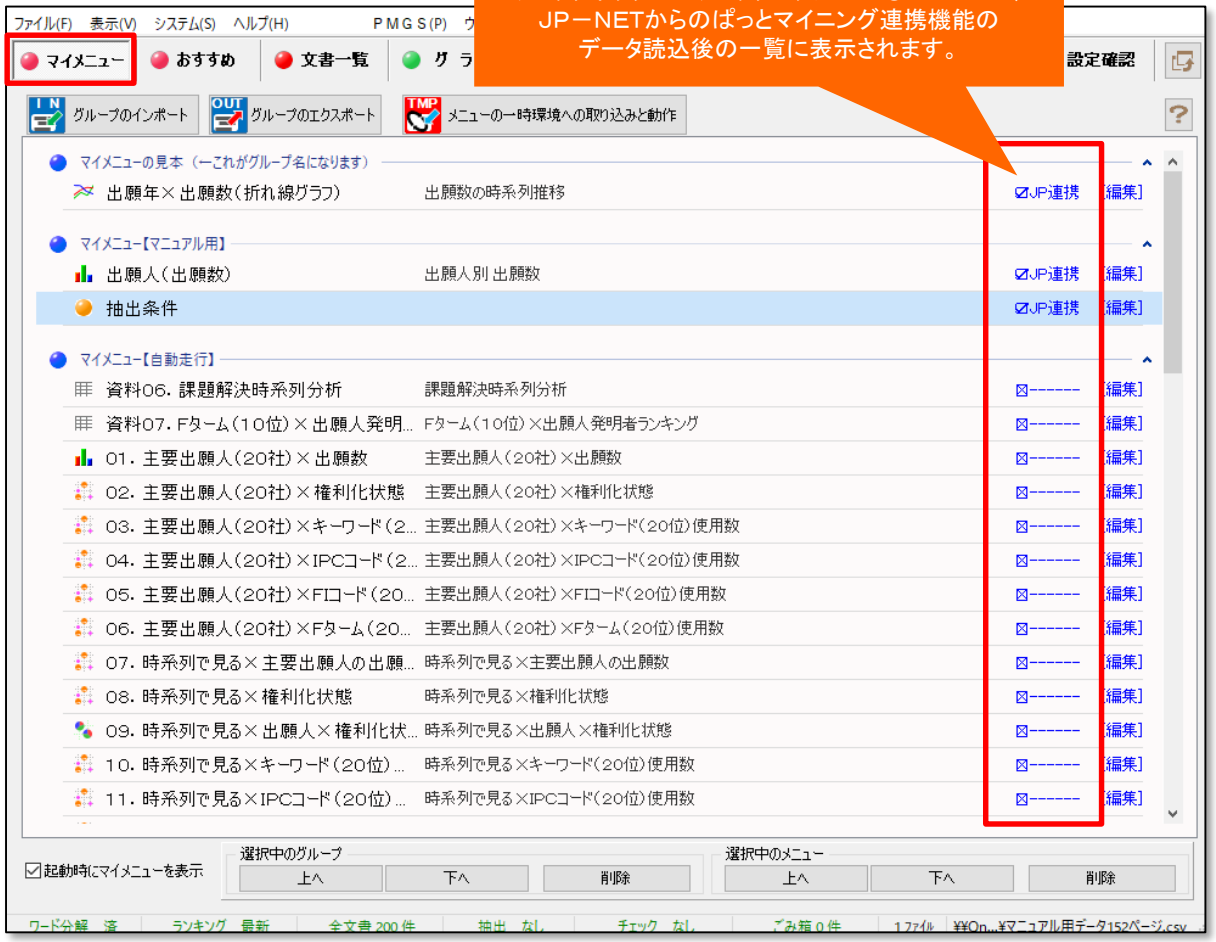
- インポート先のグループ

  マイメニューとしてインポート後のグループ名を指定することができます

マイメニューの使い方（9）

マイメニューのJP連携機能

チェックボックスのチェックが入っているメニューが、
JP－NETからのぱっとマイニング連携機能の
データ読込後の一覧に表示されます。



ここでの注意ポイント！

■ マイメニューのJP連携機能

JP－NETから呼び出す“ぱっとマイニング連携機能”にて、データ読み込んだ後に実行するマイメニューを指定することができます。その一覧に表示するマイメニューをあらかじめ指定することができます。

マイメニュー各行の右に配置された　チェックボックスにチェックが入っている状態で、前記一覧に表示されます。